

図書館だより



第52号
令和7年1月24日発行

鹿児島純心女子短期大学図書館
KAGOSHIMA Immaculate Heart college LIBRARY

■巻頭言■

Incubation Period

図書館長 有馬 義秀 (教育学・英語教育学)

シンガーソングライターみなみらんぼうさんの随筆に、こんなくだりがある。

映画『男はつらいよ』の第何作だったか、寅さんの妹さくらの一人息子満男が、マドンナに振られる。大学受験にも失敗した満男は、ダブルショックで大いに落ち込む。そんな折りに寅さんと江戸川縁を歩きながら、こう訊ねる。「伯父さん。人間どうして生きなくちゃならないんだ」と。

寅さんはいつもの明るい調子で、「バカだなお前、大学入ろうとする人間がそんなことも分からないのか?」と、まずくさしてから、「今まで生きていて良かったと思ったことがあるだろう。そんなときのために生きるんだよ」と答える。

私もこのくだりを読んで、筆者同様グッときた。また来るかもしれない、「生きていて良かった」という日のために生きる。そう、私達はいつだっていつか来る「しあわせ」に向かって歩いているのだ。

悩み多き青年期は、人間が大きく成長する Incubation period。原義は、「親鳥が卵を抱いて生まれる時をじっと待つあの孵化の期間」を指す。若き学生の多くが挫折や劣等感にさいなまされながら生きていることだろう。生きること、成績のこと、友人のこと、将来の仕事のこと、家庭のことなどなど。しかし、そのような課題や悩みをわざと避けたり、ごまかしたりしてはいけないよ。伸び悩む時、スランプの時、落ち込んだ時、それは、むしろ、次の飛躍のステップのために力をしっかりため込む大切な時であるのだから。この時こそが人間の Incubation period。素直になり、感謝の心に目覚め、自己を、そして自己の将来をしっかりと見つめる大切な時を神様が与えてくださっている好機なのだ。

そして、こんな時、人は人生を左右するほどの心の一冊に出会ったり、心の友に巡り会ったりするのだろう。答えのないこの世の中をわけも分からず生きていく中で、深く心に染み入って、根っここのとこ

ろで支えてくれるビタミン剤。そんな邂逅に恵まれた人は幸いである。

画家の岡本太郎は、その書『自分の中に毒を持って』の中で言う。「人間はだれしも弱い。だから、普通であれば、安全な方、楽な方の道を選ぼうとするのが当たり前。しかし、現に今、自分自身は選びきれずに迷っている。だとすれば、本当の自分は、危険な方の道にかけてみたいと思っているのだ。だったら、やってみればいいじゃないか。」と。

どの道を選ぼうか、迷っている諸君、自分の潜在能力に賭けてみようか。楽な方の選択だけは後できつと後悔する。青春とは、荒野を目指す冒険する心をいうのだ。

そして、迷うことは決して悪いことではない。迷いが終わらないとき、大切な事は、「思い切る」ことである。「思い」を「切る」。リセットだ。そしてとにかく、一步を踏み出す。何でもいいから行動する。一步踏み出せば、景色も変わる。景色が変われば違う発想も湧いてくる。

しかし、それでも正解はない。正しい選択などだれにも分からぬもの。でも分からない中でも生きていく力、分からないことへのタフネスを身に付けることが大切なのではないか。

青年時代に多くの挫折経験をして、そこからは上がった若者は、将来かなり期待がもてる。その傍らに愛読書の一冊もあれば、さらに申し分ないが。



「親友と卒業の日に」



学生図書委員の活動報告



1年間図書館に関する様々な活動をします

・図書館内整理作業 ・テーマ展示 ・図書館広報活動 ・館内清掃 etc.

図書委員会

各コース1名ずつ選出された図書委員から3名の役員を選出し、委員長が中心となって図書委員会を運営します。
1年間の図書委員の活動を委員会で決定し、展示活動や館内整理などを行います。



役員活動報告



委員長
デザイン表現コース2年
N. A.

私は、2年間図書委員として活動いたしました。純短の図書館は、本だけでなく設備やイベントが充実しており、とても快適な場所となっています。

そんな図書館の中でも特に皆さんに見て頂きたい場所があります。それは、図書館入口横にある本の展示コーナーです。展示する本は図書委員が選んでいます。2年生で担当した展示のテーマは「好きな表紙」でした。とにかく目に留まるようにロゴを制作し、飾り付けを工夫しました。その結果、多くの方に本を手にとっていただくことが嬉しい思い出となっています。

皆さんも図書館に立ち寄った際には、ぜひ展示コーナーへお越しください。素敵な1冊に出会えるかもしれません。



副委員長
英語科2年
F. H.

この学園に入学してから、2年。新しい学びへの期待に胸躍らせた日も、課題に追われて居残りの日も、辛くて泣いたあの日にも、図書館という居場所がそこにありました。純短の図書館に行けば、優しい司書の先生方がいつでもあたたかく迎え入れてくれます。そしてそんな司書の先生方によって選ばれた素敵な本たちとの出会いは、常に新しい発見や気づきの喜びに満ち溢れていました。幼いころから好きだった私にとって、それはまさに宝探しのようなひとときでした。

素敵な宝物を発見し、彩りある人生のヒントをくれる、そんな魅力あふれる純短の図書館で2年間も図書委員を務められたことを誇りに思います。

これからもこの図書館が、純短生の心のよりどころであり続けますように。



書記
英語科1年
H. K.

幼い時から本に囲まれた空間が好きだったので、短大でも本に関わることができたらと思い、書紀に立候補しました。図書委員となり、多くの業務をするようになって一番良かったと思うことは、自分が読んだことのないジャンルの本に出会えたことです。本の整理をしながら、「この本おもしろそう!」と思える作品によく出会うので、借りたい作品がどんどん増えていきます。皆さんも私のように、興味を惹かれてしまうような作品を2年間の学生生活の中で見つけてみませんか?

皆さんに“この本を読みたい”と思ってもらえるようなPOPなどを私たち図書委員一同が試行錯誤を繰り返しながら作成した展示もあります!

純短の図書館にて素敵な作品と共に皆さんをお待ちしておりますのでぜひ足を運んでみてくださいね!

令和6年のとしょかんは…



- ・図書館イベント「本の福袋」開催
- ・令和5年後期多読賞発表！
- ・令和5年度図書館だより発行



多読賞の方には…
図書館オリジナルバッグを
プレゼント！



- ・図書館実習
- ・テーマ展示「論文・レポート」
- ・図書館マスコットキャラクター誕生♪



「シーメル」です！
よろしくね♪



- ・1年生へ図書館長講話
- ・図書館ガイダンス



- ・図書館ガイダンス
- ・図書委員学生による展示第1弾
5月～8月テーマ「好きな表紙」

図書館をたくさん使って
ね！みんなが素敵な1冊に
出会えますように…♪



学生図書委員の展示は入ってすぐ左！
年3回みんなで取り組んでいるよ♪



- ・テーマ展示「受賞作、集めました。2024」
- ・LibraryNews発行
- ・2024年度前期多読賞決定！



- ・図書館蔵書点検
- ・書架整理期間



生活学専攻 西田一豊准教授

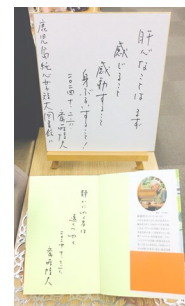




- ・シーメルCard(スタンプラリー)開催!
- ・図書委員学生による展示第2弾
- 9~11月のテーマ「みんなの思い出の本」



- ・テーマ展示
- 令和6年度文化講演会に寄せて「斎藤敦夫を読みつくせ」



- ・テーマ展示「本と図書館をめぐる物語」
- ・図書館イベント「クリスマスクイズ」開催
- ・鹿児島県大学図書館協議会・研修会開催
- ・LibraryNews発行

展示の本がどれも面白
そうで迷っちゃった♪



こども学専攻 森木朋佳准教授



- ・クリスマスの飾りつけ
- ・図書委員学生による展示第3弾
- 12月~2月のテーマ「いつか君に出会ってほしい本」
- ・クリスマスクイズ結果発表!

あっという間の1年間。
展示もイベントもたく
さんで楽しかったな。



展示やイベントにご協力いただいた学生及び先生方、ありがとうございました。
令和7年も色々なイベントを開催いたします! ぜひ図書館へお越しください♪



私の心を救ってくれた本との出会い

食物栄養専攻講師 新里 葉子 (食品衛生・食品加工)

皆さん、『よかった探し』をご存じですか？これは、私が大好きな「愛少女ポリアンナ物語」の主人公ポリアンナが大切にしていたものです。『よかった探し』は、どんなに辛く苦しいことが起きてもその中から「よかった」と思えることを探し出すゲームです。辛い時ほど「よかった」と思えることはとても難しいですが、それを見つけた時の喜びはとても大きいものです。私はこのお話に影響を受け、今でも『よかった探し』をすることで心を落ち着かせることがあります。

ポリアンナ物語は私が小学生の頃、アニメ番組としても放映されていました。もちろんアニメも毎週欠かさず見ていましたが、その物語を描いた本も出版されており、その本を買ってもらった私は、何度も何度も繰り返し読んでいた思い出があります。残念ながらその本は今、手元にありませんが、私はその物語がとても大好きでした。

ポリアンナは幼い頃母親を亡くし、牧師の父親と2人暮らしでしたが、貧しくても幸せに暮らしていました。しかしながらその父も病気で亡くなってしまい、ポリアンナは遠くに住む気難しいパレーおばさんに引き取られて一緒に暮らす事になります。彼女の持ち前の明るさと『よかった探し』によって、パレーおばさんをはじめ多くの人たちの心を開いていきました。お話の中で私が印象に残っているのは、父親から『よかった探し』を教わる朝食の場面です。週1回楽しみにしていたハムエッグの日に、パンと牛乳のみしかない食卓を見たポリアンナは「ハムエッグがないなら朝ごはんなんて食べないわ」と気持ちをぶつけます。すると父親から「世界にはいつもお腹をすかせている子どもがいる」ということや「パンと牛

乳だけでも食べられることをありがたく思い、そのことを喜ばなくてはいけない」と『よかった探し』を教わります。そのことによりポリアンナは「ハムエッグは好きだけど時々しか食べられなくてよかった。毎日食べたらおいしなって思わなくなるから」と喜びます。当時の私にとって、そういう考えを思いつくことが衝撃的でした。小さな事でも良かったと思うことで前向きになれることを知ったのと同時に、毎日の食事も含め何事も当たり前に思ったらいけない、と改めて考えさせられました。

これまでの私にとって辛くて苦しい時は何度もありました。そのような時だからこそ、今日一日無事に過ごせたから良かったとか、いいタイミングにあの人と会えて良かった、と自分なりの「良かった」を見つけることでこれまで幾度も私を救ってくれたように思います。幼き頃に読んだ1冊が、今も私の心を救ってくれています。

皆さんにもそんな一冊はありますか。

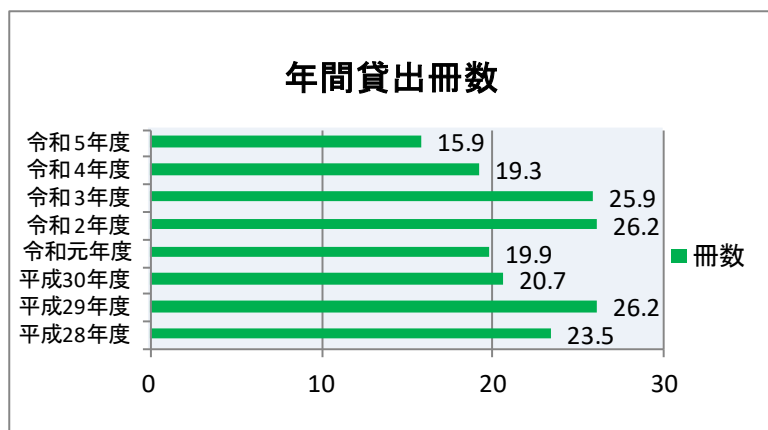
「こんな近くに図書館があつて良かった」。図書館はいろいろな調べ物ができたり、読みたい本を探せたり、私にとっては気持ちもリフレッシュできる大切な場所でもあります。皆さんも図書館に立ち寄ってみませんか。たまたま見つけた1冊の本との出会いが、あなたの気持ちを、そしてこれからの人生を変えるかもしれませんよ。



図書館だよりでご紹介のあった書籍は図書館に所蔵があります。

ぜひ読んでみてくださいね♪

年間貸出冊数



令和5年度の総貸出冊数は4,821冊でした。1人当たりの貸出冊数**15.9冊**と昨年を下回りました。全国平均は約5.9冊ですのでかなり高い数字となりました。

授業での活用やレポート作成、ホッと一息つきたくならせむ、図書館をご利用ください。

●学科・コース別●

1位 英語科1年	25.9冊
2位 こども学専攻1年	23.5冊
3位 こども学専攻2年	20.0冊
4位 食物栄養専攻2年	17.4冊
5位 食物栄養専攻1年	13.2冊

分類別貸出順位は以下の通りです。

1位 芸術・美術、2位 哲学、3位 自然科学

図書購入依頼・相互利用

令和5年度の図書購入依頼（リクエスト）、他大学への貸借・文献複写依頼・受付の件数は以下の通りです。来年度も引き続きご利用ください。

- 図書購入依頼・・・ 16件（学生リクエスト）
- 他大学図書貸借依頼・・・ 77件（内訳：学外 0件/学园内77件）
- 他大学図書貸借受付・・・ 268件（内訳：学外3件/学园内265件）
- 他大学文献複写依頼・・・ 1件
- 他大学文献複写受付・・・ 0件

（集計：2023年4月1日～2024年3月31日）

春休みの長期貸出を
ご利用ください



貸出スタート

令和7年1月14日(火)

返却日

2年生→3月17日(月)

1年生→4月 3日(木)



ボランティア募集

短大図書館でボランティアをしてくれる方を募集しています。

参加希望の方は右のQRコードよりお申込み頂くか、図書館の職員へお声がけください。

- ・ 申込先：鹿児島純心女子短期大学図書館
 - ・ 活動日：それぞれの空き時間を利用
（集合が必要な際は、日程調整にご協力ください）
 - ・ 募集対象：本学学生および教職員
 - ・ 活動内容：図書館イベントのお手伝い、広報協力、ちょっとした小物づくり etc...
- ※活動内容はメンバーの空き時間や、やりたいことなどを考慮して考えていく予定です。

本が好きの方、イベントを企画してみたい方、図書館の仕事に興味がある方等大歓迎！
質問がある方はお気軽に図書館職員へお尋ねください。



編集後記

卒業後も利用できます

卒業後も在学時と同じように
図書館を利用できます

※学校行事等で在学生以外はお断りしている期間もあります。
来館前にご連絡をお願いいたします。



今年度の「図書館だより」から、電子媒体のみの発行へと変更いたしました。令和6年は展示やイベント活動の多い1年となり、学生をはじめ、純心中学・高校生、先生方など、たくさんの方にご参加いただき、毎回大盛況となりました。令和7年も色々なイベントを開催いたしますので、ぜひご参加ください。

電子書籍の普及に伴い、図書館の本の貸出冊数は減少傾向にありますが、図書館には毎年たくさんの方が入荷しています。展示やイベントもやっておりますので、ぜひ立ち寄って、お気に入りの1冊を見つけてください。

今年も「図書館だより」52号を無事に発行することができました。原稿をご寄稿くださいました先生方並びに図書委員の皆様にご心より感謝申し上げます。